

本ページでは、DeploymentManager 6.3以降を使用している場合の仮想化ソフトウェア(ゲストOS)上での対応状況を記載します。

「しおり」タブにある各装置名から、各仮想化ソフトウェア(ゲストOS)情報へ移動が可能です。

他バージョンの対応状況については、各バージョンの対応装置一覧を参照してください。

注意事項

- DeploymentManager の各機能の対応状況や注意事項については、ユーザーズガイドの以下の章を参照してください。
ファーストステップガイド - 「付録A 機能対応表 仮想環境を管理対象マシンとした場合の対応状況」
- 各仮想マシンはWake On LAN に対応していません。動作させる場合は、手動で電源をONしてください。
- 仮想マシンに対して「シナリオ実行後条件」に「実行後に電源を切断する」を指定して配信した場合に、以下のメッセージが表示されてシナリオ実行後に電源を切断できない場合があります。
「Failed to power down by calling APM BIOS. The system has Halted.」
上記メッセージが表示された場合は、手動で電源を切ってください。
- 機種対応モジュールはDPM製品のバージョンアップなどに伴い、改版される場合があります。
改版内容によってはモジュールの再適用が必要になるため、以下を確認してください。

[機種対応モジュールリリースノート](#)

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、-:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*4、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
-:未評価(動作見込み不明)

仮想化ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
VMware ESX/ESXi *1	8.0 *2 *3 *5 *6	○	○	○	○	最新	VMware ESXi Virtual Machine 004

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
 - ・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
 - ・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
◆Vmware ESX/ESXi : <http://www.nec.co.jp/pfsoft/vmware/> - 「動作環境」
- *2 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザーズガイドなどを参照してください。)
- ・NIC
 - E1000
 - E1000E
 - VMXNET3
 - PVRDMA
- ・Storage
 - SCSI LSI Logic パラレル
 - SCSI LSI Logic SAS
 - VMware準仮想化
 - NVMe
 - SATA
 - IDE
- ・CD/DVD
 - SATA
 - IDE
- *3 以下の条件をすべて満たす構成でバックアップ/リストア/ディスク構成チェックを実行すると、管理対象マシンの進捗画面が正常に表示されません。
 - 対象となる仮想マシンのFWモードがEFI
 - ゲストOSがRed Hat Enterprise Linux 7
 - 対象となる仮想マシンのOSを再起動後にバックアップ/リストア/ディスク構成チェックを開始
この場合には、以下を参照し管理サーバでバックアップ・リストアの実行状況を確認してください。
オペレーションガイド「シナリオの実行状況を確認する」
- *4 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。
- *5 下記の設定で仮想マシンを作成した場合、デフォルトでEFIモード、セキュアブートが有効になります。
DeploymentManagerで運用する場合は、セキュアブート設定を無効に変更してください。
 - ・仮想マシン設定条件
 - 仮想マシン バージョン14以降
 - ゲストOS「Microsoft Windows Server 2016 (64ビット)」、「Microsoft Windows Server 2019 (64ビット)」、「Microsoft Windows Server 2022 (64ビット)」、「Microsoft Windows 10 (64ビット)」、「Microsoft Windows 10 (64ビット)」、「Red Hat Enterprise Linux 8 (64ビット)」のいずれかを選択している場合
- *6 セキュアブートが有効な環境については、Windows PE版Deploy-OSで対応が可能です。
Windows PE版Deploy-OSについては、対応装置一覧(管理対象装置一覧)ページの「Windows PE版Deploy-OS 対応について」を参照してください。
VMXNET3を使用している場合、Windows PE版Deploy-OSにドライバの追加が必要になります。
ドライバの入手方法については以下を参照してください。

[仮想マシンのドライバ入手方法について](#)

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、-:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*4、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
-:未評価(動作見込み不明)

仮想化ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
VMware ESX/ESXi *1	7.0 *2 *3 *5 *6	○	○	○	○	6.9 ~ 最新	VMware ESXi Virtual Machine 004

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
 - ・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
 - ・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
◆Vmware ESX/ESXi : <http://www.nec.co.jp/pfsoft/vmware/> - 「動作環境」
- *2 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザーズガイドなどを参照してください。)
- ・NIC
 - E1000
 - E1000E
 - VMXNET3
 - PVRDMA
- ・Storage
 - SCSI LSI Logic パラレル
 - SCSI LSI Logic SAS
 - VMware準仮想化
 - NVMe
 - SATA
 - IDE
- ・CD/DVD
 - SATA
 - IDE
- *3 以下の条件をすべて満たす構成でバックアップ/リストア/ディスク構成チェックを実行すると、管理対象マシンの進捗画面が正常に表示されません。
 - 対象となる仮想マシンのFWモードがEFI
 - ゲストOSがRed Hat Enterprise Linux 7
 - 対象となる仮想マシンのOSを再起動後にバックアップ/リストア/ディスク構成チェックを開始
この場合には、以下を参照し管理サーバでバックアップ・リストアの実行状況を確認してください。
オペレーションガイド「シナリオの実行状況を確認する」
- *4 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。
- *5 下記の設定で仮想マシンを作成した場合、デフォルトでEFIモード、セキュアブートが有効になります。
DeploymentManagerで運用する場合は、セキュアブート設定を無効に変更してください。
 - ・仮想マシン設定条件
 - 仮想マシン バージョン14,15,16,17
 - ゲストOS「Microsoft Windows Server 2016 (64ビット)」、「Microsoft Windows Server 2019 (64ビット)」、「Microsoft Windows 10 (64ビット)」、「Red Hat Enterprise Linux 8 (64ビット)」のいずれかを選択している場合
- *6 セキュアブートが有効な環境については、Windows PE版Deploy-OSで対応が可能です。
Windows PE版Deploy-OSについては、対応装置一覧(管理対象装置一覧)ページの「Windows PE版Deploy-OS 対応について」を参照してください。
VMXNET3を使用している場合、Windows PE版Deploy-OSにドライバの追加が必要になります。
ドライバの入手方法については以下を参照してください。

[仮想マシンのドライバ入手方法について](#)

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、－:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*4、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
－:未評価(動作見込み不明)

仮想化ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
VMware ESX/ESXi *1	6.7u1 *2 *3 *5	○	○	○	○	6.8 ～ 最新	VMware ESXi Virtual Machine 004
						6.4 ～ 6.7	VMware ESXi Virtual Machine 004 (DPM631_017.zip) (DPM631_010d.zip) *6

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
 - ・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
 - ・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
◆Vmware ESX/ESXi : <http://www.nec.co.jp/pfsoft/vmware/> - 「動作環境」
- *2 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザズガイドなどを参照してください。)
- ・NIC
 - E1000
 - E1000E
 - フレキシブル
 - VMXNET3
 - PVRDMA
- ・Storage
 - SCSI BusLogic パラレル
(本デバイスを使用する場合は、仮想マシンのメモリは3GB以下に設定してください。)
 - SCSI LSI Logic パラレル
 - SCSI LSI Logic SAS
 - VMware準仮想化
 - IDE
- ・CD/DVD
 - IDE
- *3 以下の条件をすべて満たす構成でバックアップ/リストア/ディスク構成チェックを実行すると、管理対象マシンの進捗画面が正常に表示されません。
 - 対象となる仮想マシンのFWモードがEFI
 - ゲストOSがRed Hat Enterprise Linux 7
 - 対象となる仮想マシンのOSを再起動後にバックアップ/リストア/ディスク構成チェックを開始
この場合には、以下を参照し管理サーバでバックアップ・リストアの実行状況を確認してください。
オペレーションガイド-「シナリオの実行状況を確認する」
- *4 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。

- *5** 下記の設定で仮想マシンを作成した場合、デフォルトでEFIモード、セキュアブートが有効になります。
DeploymentManagerで運用する場合は、セキュアブート設定を無効に変更してください。

・仮想マシン設定条件

- 仮想マシン バージョン14
- ゲストOS「Microsoft Windows Server 2016 (64ビット)」、「Microsoft Windows 10 (64ビット)」、「Red Hat Enterprise Linux 8 (64ビット)」のいずれかを選択している場合

- *6** 2種類の機種対応モジュールを必ず適用してください。
一方が適用されていないと正常に動作しない場合があります。

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、-:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*5、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
-:未評価(動作見込み不明)

仮想化ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
VMware ESX/ESXi *2	6.7 *3 *4 *6	○	× *1	○	○	6.8 ～ 最新	VMware ESXi Virtual Machine 004
						6.4 ～ 6.7	VMware ESXi Virtual Machine 004 (DPM631_017.zip) (DPM631_010d.zip) *7

注意事項

- *1 ESXi6.7でUEFIモードの仮想マシンは、以下の理由から対応していません。
DPMの運用では、ブート順序が上位に設定されているネットワークブートのスキップを経てOSが起動しますが、ESXi6.7 UEFIモードの仮想マシンの場合は、スキップ後にブートメニュー画面に遷移されるため、OSが起動しません。
- *2 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
◆Vmware ESX/ESXi : <http://www.nec.co.jp/pfsoft/vmware/> - 「動作環境」
- *3 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザズガイドなどを参照してください。)
・NIC
- E1000
- E1000E
- フレキシブル
- VMXNET3
- PVRDMA
・Storage
- SCSI BusLogic パラレル
(本デバイスを使用する場合は、仮想マシンのメモリは3GB以下に設定してください。)
- SCSI LSI Logic パラレル
- SCSI LSI Logic SAS
- VMware準仮想化
- IDE
・CD/DVD
- IDE
- *4 以下の条件をすべて満たす構成でバックアップ/リストア/ディスク構成チェックを実行すると、管理対象マシンの進捗画面が正常に表示されません。
- 対象となる仮想マシンのFWモードがEFI
- ゲストOSがRed Hat Enterprise Linux 7
- 対象となる仮想マシンのOSを再起動後にバックアップ/リストア/ディスク構成チェックを開始
この場合には、以下を参照し管理サーバでバックアップ・リストアの実行状況を確認してください。
オペレーションガイド「シナリオの実行状況を確認する」
- *5 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。

- *6** 下記の設定で仮想マシンを作成した場合、デフォルトでEFIモード、セキュアブートが有効になります。
DeploymentManagerで運用する場合は、Legacy BIOSモードに変更してください。

・仮想マシン設定条件

- 仮想マシン バージョン14
- ゲストOS「Microsoft Windows Server 2016 (64ビット)」、「Microsoft Windows 10 (64ビット)」、「Red Hat Enterprise Linux 8 (64ビット)」のいずれかを選択している場合

- *7** 2種類の機種対応モジュールを必ず適用してください。
一方が適用されていないと正常に動作しない場合があります。

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、－:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*4、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
－:未評価(動作見込み不明)

仮想化ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
VMware ESX/ESXi *1	6.5 *2 *3	○	○	○	○	6.8 ～ 最新	VMware ESXi Virtual Machine 004
						6.4 ～ 6.7	VMware ESXi Virtual Machine 004 (DPM631_017.zip) (DPM631_010d.zip) *5

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
 - ・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
 - ・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
◆Vmware ESX/ESXi : <http://www.nec.co.jp/pfsoft/vmware/> - 「動作環境」
- *2 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザーズガイドなどを参照してください。)
- ・NIC
 - E1000
 - E1000E
 - フレキシブル
 - VMXNET3
 - PVRDMA
- ・Storage
 - SCSI BusLogic パラレル
(本デバイスを使用する場合は、仮想マシンのメモリは3GB以下に設定してください。)
 - SCSI LSI Logic パラレル
 - SCSI LSI Logic SAS
 - VMware準仮想化
 - IDE
- ・CD/DVD
 - IDE
- *3 以下の条件をすべて満たす構成でバックアップ/リストア/ディスク構成チェックを実行すると、管理対象マシンの進捗画面が正常に表示されません。
 - 対象となる仮想マシンのFWモードがEFI
 - ゲストOSがRed Hat Enterprise Linux 7
 - 対象となる仮想マシンのOSを再起動後にバックアップ/リストア/ディスク構成チェックを開始
この場合には、以下を参照し管理サーバでバックアップ・リストアの実行状況を確認してください。
オペレーションガイド-「シナリオの実行状況を確認する」
- *4 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。
- *5 2種類の機種対応モジュールを必ず適用してください。
一方が適用されていないと正常に動作しない場合があります。

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、-:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*4、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
-:未評価(動作見込み不明)

仮想化 ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
VMware ESX/ESXi *1	6.0 *2 *3	○	○	○	○	6.4 ~ 最新	VMware ESXi Virtual Machine 003

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
 - ・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
 - ・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
◆Vmware ESX/ESXi : <http://www.nec.co.jp/pfsoft/vmware/> - 「動作環境」
- *2 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザーズガイドなどを参照してください。)
- ・NIC
 - E1000
 - E1000E
 - フレキシブル
 - VMXNET3
- ・Storage
 - SCSI BusLogic パラレル
(本デバイスを使用する場合は、仮想マシンのメモリは3GB以下に設定してください。)
 - SCSI LSI Logic パラレル
 - SCSI LSI Logic SAS
 - VMware準仮想化
 - IDE
- ・CD/DVD
 - IDE
- *3 以下の条件をすべて満たす構成でバックアップ/リストア/ディスク構成チェックを実行すると、
管理対象マシンの進捗画面が正常に表示されません。
 - 対象となる仮想マシンのFWモードがEFI
 - ゲストOSがRed Hat Enterprise Linux 7
 - 対象となる仮想マシンのOSを再起動後にバックアップ/リストア/ディスク構成チェックを開始
この場合には、以下を参照し管理サーバでバックアップ・リストアの実行状況を確認してください。
オペレーションガイド「シナリオの実行状況を確認する」
- *4 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、-:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*5、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
-:未評価(動作見込み不明)

仮想化ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
VMware ESX/ESXi *1	5.5 *2 *3	○	○	○	○	6.4 ～ 最新	VMware ESXi Virtual Machine 003
		○	○	○	○	6.31	VMware ESXi Virtual Machine 003 (DPM631_010d.zip) (DPM60_006i.zip) *4
		○	○	○	○	6.3	VMware ESXi Virtual Machine 002

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
 - ・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
 - ・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
◆Vmware ESX/ESXi : <http://www.nec.co.jp/pfsoft/vmware/> - 「動作環境」
- *2 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザーズガイドなどを参照してください。)
- ・NIC
 - E1000
 - E1000E
 - フレキシブル
 - VMXNET3
- ・Storage
 - SCSI BusLogic パラレル
(本デバイスを使用する場合は、仮想マシンのメモリは3GB以下に設定してください。)
 - SCSI LSI Logic パラレル
 - SCSI LSI Logic SAS
 - VMware準仮想化
 - IDE
- ・CD/DVD
 - IDE
- *3 以下の条件をすべて満たす構成でバックアップ/リストア/ディスク構成チェックを実行すると、管理対象マシンの進捗画面が正常に表示されません。
 - 対象となる仮想マシンのFWモードがEFI
 - ゲストOSがRed Hat Enterprise Linux 7
 - 対象となる仮想マシンのOSを再起動後にバックアップ/リストア/ディスク構成チェックを開始
この場合には、以下を参照し管理サーバでバックアップ・リストアの実行状況を確認してください。
オペレーションガイドー「シナリオの実行状況を確認する」

- *4 2種類の機種対応モジュールを必ず適用してください。
一方が適用されていないと正常に動作しない場合があります。
- *5 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、－:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*3、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
－:未評価(動作見込み不明)

仮想化 ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
VMware ESX/ESXi *1	5.1 *2	○	○	○	○	6.3 ～ 最新	VMware ESXi Virtual Machine 002

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
 - ・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
 - ・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
◆Vmware ESX/ESXi : <http://www.nec.co.jp/pfsoft/vmware/> - 「動作環境」
- *2 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザーズガイドなどを参照してください。)
- ・NIC
 - E1000
 - E1000E
 - フレキシブル
- ・Storage
 - SCSI BusLogic パラレル
(本デバイスを使用する場合は、仮想マシンのメモリは3GB以下に設定してください。)
 - SCSI LSI Logic パラレル
 - SCSI LSI Logic SAS
 - IDE
- ・CD/DVD
 - IDE
- *3 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、－:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*3、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
－:未評価(動作見込み不明)

仮想化 ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
VMware ESX/ESXi *1	5.0 *2	○	－	○	○	6.3 ～ 6.7	VMware ESX Virtual Machine 001

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
 - ・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
 - ・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
◆Vmware ESX/ESXi : <http://www.nec.co.jp/pfsoft/vmware/> - 「動作環境」
- *2 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザーズガイドなどを参照してください。)
- ・NIC
 - － E1000
 - － E1000E
 - － フレキシブル
- ・Storage
 - － SCSI BusLogic パラレル
(本デバイスを使用する場合は、仮想マシンのメモリは3GB以下に設定してください。)
 - － SCSI LSI Logic パラレル
 - － SCSI LSI Logic SAS
 - － IDE
- ・CD/DVD
 - － IDE
- *3 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、－:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*4、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
－:未評価(動作見込み不明)

仮想化ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
VMware ESX/ESXi *1	4.0/4.1 *2 *3	○	－	○	○	6.3 ～ 6.51	VMware ESX Virtual Machine 001

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
 - ・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
 - ・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
◆Vmware ESX/ESXi : <http://www.nec.co.jp/pfsoft/vmware/> - 「動作環境」
- *2 「DHCPサーバを設置しない」運用でVMware ESX4.1/ESXi4.1 の仮想マシンのバックアップ／リストアを行う場合は、処理対象のディスクよりもCD/DVDドライブが先に認識されるため、1本目のバックアップ／リストア対象ディスクのディスク番号が2になります。
バックアップ／リストアシナリオ実行前にディスク構成チェックを行ってディスク番号の確認を行ってください。
- *3 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザズガイドなどを参照してください。)
 - ・NIC
 - － E1000
 - － フレキシブル
 - ・Storage
 - － SCSI BusLogic パラレル
 - － SCSI LSI Logic パラレル
 - － SCSI LSI Logic SAS
 - － IDE
 - ・CD/DVD
 - － IDE
- *4 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、-:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*5、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
-:未評価(動作見込み不明)

仮想化ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
Hyper-V *1	Windows Server 2025 Hyper-V *2 *3 *4 *7	○ *8	○ *6	○	○	6.14 ~ 最新	Microsoft Hyper-V Virtual Machine 003

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
- *2 仮想マシンに対してバックアップ/リストアを行う場合に、性能が低下する場合があります。
また、仮想マシンに割り当てるCPU数を増やすことで、さらに性能が低くなります。
詳細は以下の注意事項をご参照してください。
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/download.html>
- ファーストステップガイド(仮想環境を管理対象マシンとした場合の対応状況(ゲストOS))
- *3 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
第1世代、第2世代の仮想マシンによって対応しているデバイスが異なります。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザズガイドなどを参照してください。)
・NIC
- レガシ ネットワーク アダプター(第1世代)
- ネットワーク アダプター(第2世代)
・Storage
- IDE コントローラー(第1世代)
- SCSI コントローラー(第2世代)
- *4 フェイルオーバークラスタマネージャーにより仮想マシンを高可用性構成にしている場合、
管理サーバやネットワーク負荷によるDeploy-OSの起動の遅延を、OS起動の失敗と検知して
仮想マシンがリセットされ、シナリオ実行がエラーとなる場合があります。
このような場合、クラスタ化された仮想マシンの監視設定などを適切に変更してください。
- *5 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。
- *6 別マシンへのリストア、ディスク複製OSインストール、Linux OSクリアインストールを実施した場合、
OS起動後にOSのブートマネージャーがブート順序の先頭に追加される場合があります。
OSのブートマネージャーがブート順序の先頭にある場合、PXE/CDブートしない環境となります。
以下を参照してUEFIブートメニューの変更を行ってください。
[UEFIブートメニューの変更方法について](#)
- *7 セキュアブートが有効な環境については、Windsows PE版Deploy-OSで対応が可能です。
Windows PE版Deploy-OSについては、対応装置一覧(管理対象装置一覧)ページの「Windows PE版Deploy-OS
対応について」を参照してください。

- *8 第1世代の仮想マシンに対してPXEブート方式でバックアップ、リストアする場合、バックアップ、リストアの速度が著しく低下する可能性があります。
CDブート方式、かつ通信NICを「ネットワークアダプター」に変更することで速度が改善します。

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、－:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*5、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
－:未評価(動作見込み不明)

仮想化ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
Hyper-V *1	Windows Server 2022 Hyper-V *2 *3 *4 *7	○ *8	○ *6	○	○	6.12 ～ 最新	Microsoft Hyper-V Virtual Machine 003

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
[◆Windows Server 2022 Hyper-Vのサポートについて](#)
- *2 仮想マシンに対してバックアップ/リストアを行う場合に、性能が低下する場合があります。
また、仮想マシンに割り当てるCPU数を増やすことで、さらに性能が低くなります。
詳細は以下の注意事項をご参照してください。
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/download.html>
－ ファーストステップガイド(仮想環境を管理対象マシンとした場合の対応状況(ゲストOS))
- *3 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
第1世代、第2世代の仮想マシンによって対応しているデバイスが異なります。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザズガイドなどを参照してください。)
・NIC
－ レガシ ネットワーク アダプター(第1世代)
－ ネットワーク アダプター(第2世代)
・Storage
－ IDE コントローラー(第1世代)
－ SCSI コントローラー(第2世代)
- *4 フェイルオーバークラスタマネージャーにより仮想マシンを高可用性構成にしている場合、
管理サーバやネットワーク負荷によるDeploy-OSの起動の遅延を、OS起動の失敗と検知して
仮想マシンがリセットされ、シナリオ実行がエラーとなる場合があります。
このような場合、クラスタ化された仮想マシンの監視設定などを適切に変更してください。
- *5 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。
- *6 別マシンへのリストア、ディスク複製OSインストール、Linux OSクリアインストールを実施した場合、
OS起動後にOSのブートマネージャーがブート順序の先頭に追加される場合があります。
OSのブートマネージャーがブート順序の先頭にある場合、PXE/CDブートしない環境となります。
以下を参照してUEFIブートメニューの変更を行ってください。
[UEFIブートメニューの変更方法について](#)
- *7 セキュアブートが有効な環境については、Windows PE版Deploy-OSで対応が可能です。
Windows PE版Deploy-OSについては、対応装置一覧(管理対象装置一覧)ページの「Windows PE版Deploy-OS
対応について」を参照してください。

- *8 第1世代の仮想マシンに対してPXEブート方式でバックアップ、リストアする場合、バックアップ、リストアの速度が著しく低下する可能性があります。
CDブート方式、かつ通信NICを「ネットワークアダプター」に変更することで速度が改善します。

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、-:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*5、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
-:未評価(動作見込み不明)

仮想化 ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
Hyper-V *1	Windows Server 2019 Hyper-V *2 *3 *4 *6 *8	○ *9	○ *7	○	○	6.8 ～ 最新	Microsoft Hyper-V Virtual Machine 003
			—			6.7	Microsoft Hyper-V Virtual Machine 002
						6.4 ～ 6.6	Microsoft Hyper-V Virtual Machine 002 (DPM60_006i.zip)

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
[◆Windows Server 2019 Hyper-Vのサポートについて](#)
- *2 仮想マシンに対してバックアップ/リストアを行う場合に、性能が低下する場合があります。
また、仮想マシンに割り当てるCPU数を増やすことで、さらに性能が低くなります。
詳細は以下の注意事項をご参照してください。
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/download.html>
- ファーストステップガイド(仮想環境を管理対象マシンとした場合の対応状況(ゲストOS))
- *3 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
第1世代、第2世代の仮想マシンによって対応しているデバイスが異なります。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザズガイドなどを参照してください。)
・NIC
- レガシ ネットワーク アダプター(第1世代)
- ネットワーク アダプター(第2世代)
・Storage
- IDE コントローラー(第1世代)
- SCSI コントローラー(第2世代)
- *4 フェイルオーバークラスターマネージャーにより仮想マシンを高可用性構成にしている場合、
管理サーバやネットワーク負荷によるDeploy-OSの起動の遅延を、OS起動の失敗と検知して
仮想マシンがリセットされ、シナリオ実行がエラーとなる場合があります。
このような場合、クラスタ化された仮想マシンの監視設定などを適切に変更してください。
- *5 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。
- *6 第2世代の仮想マシンを管理したい場合は、DPM6.8をご使用ください。
- *7 別マシンへのリストア、ディスク複製OSインストール、Linux OSクリアインストールを実施した場合、
OS起動後にOSのブートマネージャーがブート順序の先頭に追加される場合があります。
OSのブートマネージャーがブート順序の先頭にある場合、PXE/CDブートしない環境となります。
以下を参照してUEFIブートメニューの変更を行ってください。
[UEFIブートメニューの変更方法について](#)

- *8 セキュアブートが有効な環境については、Windsows PE版Deploy-OSで対応が可能です。
Windows PE版Deploy-OSについては、対応装置一覧(管理対象装置一覧)ページの「Windows PE版Deploy-OS 対応について」を参照してください。
- *9 第1世代の仮想マシンに対してPXEブート方式でバックアップ、リストアする場合、
バックアップ、リストアの速度が著しく低下する可能性があります。
CDブート方式、かつ通信NICを「ネットワークアダプター」に変更することで速度が改善します。

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、－:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*6、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
－:未評価(動作見込み不明)

仮想化 ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
Hyper-V *1	Windows Server 2016 Hyper-V *2 *3 *4 *7	○ *9	○ *8	○	○	6.8 ～ 最新	Microsoft Hyper-V Virtual Machine 003
			—			6.7	Microsoft Hyper-V Virtual Machine 002
						6.4 ～ 6.6	Microsoft Hyper-V Virtual Machine 002 (DPM60_006i.zip)
						6.3 ～ 6.31	Microsoft Hyper-V Virtual Machine 002 (DPM60_006i.zip) (DPM631_010d.zip) *5

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
 - ・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
 - ・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
[◆Windows Server 2016 Hyper-Vのサポートについて](#)
- *2 仮想マシンに対してバックアップ/リストアを行う場合に、性能が低下する場合があります。また、仮想マシンに割り当てるCPU数を増やすことで、さらに性能が低くなります。詳細は以下の注意事項をご参照してください。
 - ・DPM6.3の場合
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/>
- [注意事項] - [各バージョンの注意事項] - [Hyper-Vの仮想マシンを管理する場合の注意事項]
 - ・DPM6.4以降の場合
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/download.html>
- ファーストステップガイド(仮想環境を管理対象マシンとした場合の対応状況(ゲストOS))
- *3 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。第1世代、第2世代の仮想マシンによって対応しているデバイスが異なります。(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザズガイドなどを参照してください。)
- ・NIC
 - レガシ ネットワーク アダプター(第1世代)
 - ネットワーク アダプター(第2世代)
- ・Storage
 - IDE コントローラー(第1世代)
 - SCSI コントローラー(第2世代)

- *4 フェイルオーバークラスターマネージャーにより仮想マシンを高可用性構成にしている場合、管理サーバやネットワーク負荷によるDeploy-OSの起動の遅延を、OS起動の失敗と検知して仮想マシンがリセットされ、シナリオ実行がエラーとなる場合があります。
このような場合、クラスタ化された仮想マシンの監視設定などを適切に変更してください。
- *5 2種類の機種対応モジュールを必ず適用してください。
一方が適用されていないと正常に動作しない場合があります。
- *6 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。
- *7 第2世代の仮想マシンを管理したい場合は、DPM6.8をご使用ください。
- *8 別マシンへのリストア、ディスク複製OSインストール、Linux OSクリアインストールを実施した場合、OS起動後にOSのブートマネージャーがブート順序の先頭に追加される場合があります。
OSのブートマネージャーがブート順序の先頭にある場合、PXE/CDブートしない環境となります。
以下を参照してUEFIブートメニューの変更を行ってください。
[UEFIブートメニューの変更方法について](#)
- *9 第1世代の仮想マシンに対してPXEブート方式でバックアップ、リストアする場合、バックアップ、リストアの速度が著しく低下する可能性があります。
CDブート方式、かつ通信NICを「ネットワークアダプター」に変更することで速度が改善します。

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、－:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*4、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
－:未評価(動作見込み不明)

仮想化ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
Hyper-V *1	Windows Server 2012 R2 Hyper-V *2 *3 *5	○ *7	○ *6	○	○	6.8 ～ 最新	Microsoft Hyper-V Virtual Machine 003
			－			6.3 ～ 最新	Microsoft Hyper-V Virtual Machine 002

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
 - ・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
 - ・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
[◆Express5800シリーズにおける Windows Server 2012 R2 Hyper-V のサポートについて](#)
- *2 仮想マシンに対してバックアップ/リストアを行う場合に、性能が低下する場合があります。
また、仮想マシンに割り当てるCPU数を増やすことで、さらに性能が低くなります。
詳細は以下の注意事項をご参照してください。
 - ・DPM6.3の場合
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/>
- [注意事項] - [各バージョンの注意事項] - [Hyper-Vの仮想マシンを管理する場合の注意事項]
 - ・DPM6.4以降の場合
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/download.html>
- ファーストステップガイド(仮想環境を管理対象マシンとした場合の対応状況(ゲストOS))
- *3 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
第1世代、第2世代の仮想マシンによって対応しているデバイスが異なります。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザーズガイドなどを参照してください。)
- ・NIC
 - レガシ ネットワーク アダプター(第1世代)
 - ネットワーク アダプター(第2世代)
- ・Storage
 - IDE コントローラー(第1世代)
 - SCSI コントローラー(第2世代)
- *4 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。
- *5 第2世代の仮想マシンを管理したい場合は、DPM6.8をご使用ください。
- *6 別マシンへのリストア、ディスク複製OSインストール、Linux OSクリアインストールを実施した場合、OS起動後にOSのブートマネージャーがブート順序の先頭に追加される場合があります。
OSのブートマネージャーがブート順序の先頭にある場合、PXE/CDブートしない環境となります。
以下を参照してUEFIブートメニューの変更を行ってください。
[UEFIブートメニューの変更方法について](#)

- *7 第1世代の仮想マシンに対してPXEブート方式でバックアップ、リストアする場合、バックアップ、リストアの速度が著しく低下する可能性があります。
CDブート方式、かつ通信NICを「ネットワークアダプター」に変更することで速度が改善します。

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、－:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*4、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
－:未評価(動作見込み不明)

仮想化 ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
Hyper-V *1	Windows Server 2012 Hyper-V *2 *3	○ *5	－	○	○	6.3 ～ 最新	Microsoft Hyper-V Virtual Machine 002

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
 - ・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
 - ・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
◆[Express5800シリーズにおける Windows Server 2012 R2 Hyper-V のサポートについて](#)
- *2 仮想マシンに対してバックアップ/リストアを行う場合に、性能が低下する場合があります。
また、仮想マシンに割り当てるCPU数を増やすことで、さらに性能が低くなります。
詳細は以下の注意事項をご参照してください。
 - ・DPM6.3の場合
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/>
- [注意事項] - [各バージョンの注意事項] - [Hyper-Vの仮想マシンを管理する場合の注意事項]
 - ・DPM6.4以降の場合
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/download.html>
- ファーストステップガイド(仮想環境を管理対象マシンとした場合の対応状況(ゲストOS))
- *3 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザーズガイドなどを参照してください。)
 - ・NIC
- レガシ ネットワーク アダプター
 - ・Storage
- IDE コントローラー
- *4 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。
- *5 第1世代の仮想マシンに対してPXEブート方式でバックアップ、リストアする場合、
バックアップ、リストアの速度が著しく低下する可能性があります。
CDブート方式、かつ通信NICを「ネットワークアダプター」に変更することで速度が改善します。

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、－:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*5、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
－:未評価(動作見込み不明)

仮想化ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
Hyper-V *1	2.0 (Windows Server 2008 R2) *2 *3 *4	○ *6	－	○	○	6.3 ～ 最新	Microsoft Hyper-V Virtual Machine 001

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
 - ・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
 - ・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
◆Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 サポート情報
[Express5800シリーズにおけるHyper-V 2.0のサポートについて](#)
- *2 DeploymentManagerでバックアップ/リストア可能な仮想ハードディスクの最大容量は127GBになります。
- *3 仮想マシンに対してバックアップ/リストアを行う場合に、性能が低下する場合があります。
また、仮想マシンに割り当てるCPU数を増やすことで、さらに性能が低くなります。
詳細は以下の注意事項をご参照してください。
 - ・DPM6.3の場合
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/>
- [注意事項] - [各バージョンの注意事項] - [Hyper-Vの仮想マシンを管理する場合の注意事項]
 - ・DPM6.4以降の場合
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/download.html>
- ファーストステップガイド(仮想環境を管理対象マシンとした場合の対応状況(ゲストOS))
- *4 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザズガイドなどを参照してください。)
- ・NIC
 - レガシ ネットワーク アダプター
- ・Storage
 - IDE コントローラー
- *5 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。
- *6 第1世代の仮想マシンに対してPXEブート方式でバックアップ、リストアする場合、
バックアップ、リストアの速度が著しく低下する可能性があります。
CDブート方式、かつ通信NICを「ネットワークアダプター」に変更することで速度が改善します。

- ・Legacy/UEFIブートの対応状況は「ブート」列を参照してください。意味は以下の通りです。
○:動作確認済み、－:対象外
- ・「対応状況」列のアルファベットは以下の機能を示します。
A:バックアップ/リストア/ディスク構成チェック、B:ディスク複製OSインストール
- ・Deploy-OSの対応状況は「対応状況」列を参照してください。
意味は以下の通りです。
○:動作確認済み*5、×:動作不可、△:評価予定(動作可能見込み)、■:評価予定(動作見込み不明)、
－:未評価(動作見込み不明)

仮想化ソフトウェア	バージョン	ブート		対応状況		対応Ver.	Deploy-OS (機種対応モジュール)
		Legacy	UEFI	A	B		
Hyper-V *1	1.0 (Windows Server 2008) *2 *3 *4	○ *6	－	○	○	6.3 ～ 最新	Microsoft Hyper-V Virtual Machine 001

注意事項

- *1 仮想マシンとして対応するOSは、以下の両方の条件を満たしているOSとなります。
 - ・DPMの管理対象マシンとして対応しているOS
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/index.html> - 「動作環境」
 - ・仮想化ソフトウェアがゲストOSとして対応しているOS
◆Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 サポート情報
[Express5800シリーズにおけるHyper-Vのサポートについて](#)
- *2 DeploymentManagerでバックアップ/リストア可能な仮想ハードディスクの最大容量は127GBになります。
- *3 仮想マシンに対してバックアップ/リストアを行う場合に、性能が低下する場合があります。
また、仮想マシンに割り当てるCPU数を増やすことで、さらに性能が低くなります。
詳細は以下の注意事項をご参照してください。
 - ・DPM6.3の場合
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/>
- [注意事項] - [各バージョンの注意事項] - [Hyper-Vの仮想マシンを管理する場合の注意事項]
 - ・DPM6.4以降の場合
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/download.html>
- ファーストステップガイド(仮想環境を管理対象マシンとした場合の対応状況(ゲストOS))
- *4 以下のデバイスでのバックアップ/リストア/ディスク構成チェック、ディスク複製OSインストールが可能です。
(仮想マシンの設定方法の詳細については、製品添付のユーザズガイドなどを参照してください。)
- ・NIC
 - レガシ ネットワーク アダプター
- ・Storage
 - IDE コントローラー
- *5 ネットワークデバイス、ストレージデバイスのハードウェアID等による机上確認を含みます。
- *6 第1世代の仮想マシンに対してPXEブート方式でバックアップ、リストアする場合、
バックアップ、リストアの速度が著しく低下する可能性があります。
CDブート方式、かつ通信NICを「ネットワークアダプター」に変更することで速度が改善します。